

## 第2学年 道徳学習指導案

1組 計28人（男子13人、女子15人）

指導者 中 熊 信 仁

### 1 主 題 名

相手の本当の気持ちは（2-2）思いやり・親切）  
読み物資料「公園のおにごっこ」（学研教育みらい2年）

### 2 主題について

#### (1) 内容項目と

##### その系統

##### 【低学年2-2】

幼い人や高齢者など身近にいる人に温かい心で接し、親切にする。

##### 【中学年2-2】

相手のことを思いやり、進んで親切にする。

##### 【高学年2-2】

だれに対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にする。

#### (2) 指導内容についての基本的な立場

思いやりとは、相手の立場や気持ちを推し量り、自分の思いを相手に向けることである。そして、それが、他の人に温かく接し、相手の立場に立った励ましや援助などの親切な行為として表れるものである。相手を思いやり、相手の立場に立って親切にすることは、他の人に接するときの基本的な姿勢であり、よりよい人間関係を築くための基盤となるものである。

この期の子どもたちは、困っている人に接したとき、できるだけ助けてあげようとする優しい心をもっている。しかし、自分本位な考え方や怠惰な気持ち、損得感情などの心の弱さから、なかなか親切な行為ができないことも多い。特に、幼い人や高齢者に対してはその思いや気持ちをとらえにくく、親切にすることが難しい。また、親切にできても、見返りがあるからといった理由であったり、親切にしたつもりが、相手にとって本当に望ましいものかどうか考えずに行動していたりすることも多く、親切にすることの本当の意義に気付いていない子どもも見られる。

そこで、本主題では、身近にいる人に温かい心で接し、親切にすることのよさをしっかりと感じ取り、考えられるようにしていく。そして、相手の立場や本当の気持ちを理解し、思いやりの心で接すれば、親切にした方もされた方も温かい気持ちになり、よりよい人間関係が確立することに気付くことができるようにする。これらのことにより、子どもが身近にいる幼い人や高齢者などとの触れ合いの中で、相手のことを考え、優しく接し、親切な行為をしようとする態度を育てる。

#### (3) 本主題の指導内容及び道徳的価値の構造（価値構造図）

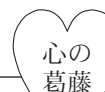
##### 第1学年及び第2学年

幼い人や高齢者など身近にいる人に温かい心で接し、親切にしようとする心情を育てる。

##### 道徳的实践を支える考え方や感じ方

|     |   |                    |             |
|-----|---|--------------------|-------------|
| 対自分 | ア | 人に親切にできて気持ちがいい、嬉しい | （自己の快い感情）   |
|     | イ | 人に親切にできて自分が成長する    | （自己の成長）     |
|     | ウ | 人からの信頼が深まる         | （信頼関係の深化）   |
| 対他者 | エ | 相手のことが理解できる        | （他者への理解）    |
|     | オ | 親切にすると相手が喜んでくれる    | （他者の快い感情）   |
|     | カ | 相手が成長する            | （他者の成長）     |
| 対社会 | キ | みんなが気持ちよくなる        | （人間関係の向上）   |
|     | ク | みんなを大切にできる社会ができる   | （望ましい社会の形成） |
|     | ケ | 支え合い、助け合う社会ができる    | （魅力ある社会の実現） |

##### 二面性



##### 実践を阻む要因

- a 自分本位な考え  
（自分がしたいことをする）
- b 怠惰・労苦からの逃避  
（親切にするのは面倒だ）
- c 損得感情  
（嫌なことをされた）
- d 恥ずかしさ  
（親切にするのが恥ずかしい）
- e 好悪の判断  
（人によって親切にする）
- f 無関心  
（自分には関係ない）

①相手の本当の気持ちを考える（他者理解）

##### 心 構 え

②温かい心で接する（思いやり）

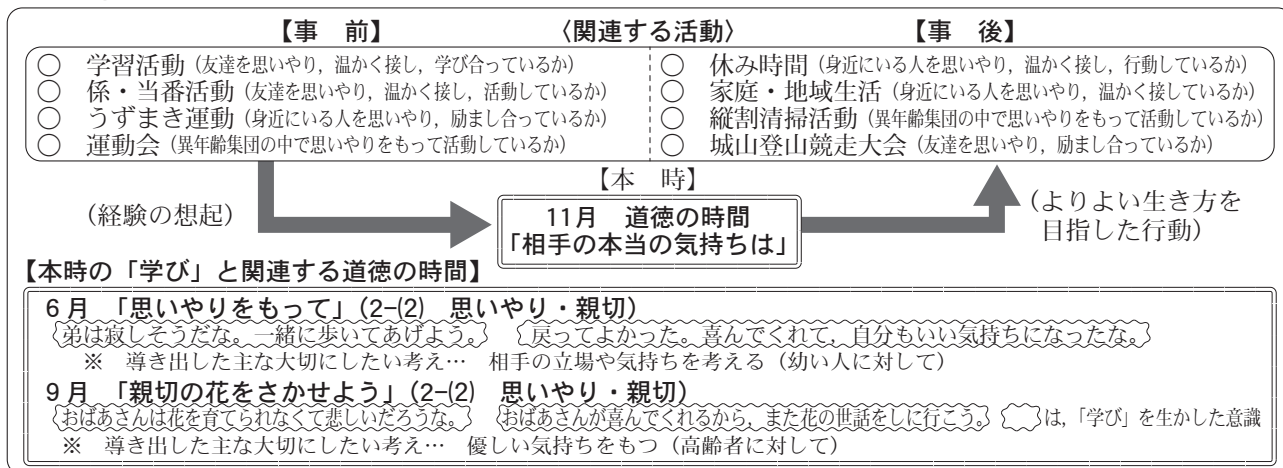
③優しい気持ちをもつ（優しさ） ④親切にすることのよさを考える（意義）

⑤親切にしようと思う（意欲）

⑥我慢する（自己犠牲） ⑦助け合う関係をつくる（助け合い）

⑧勇気をもつ（勇気） ⑨正義感をもつ（正義）

#### (4) 本主題に関する「学び」の関連



### 3 子どもの実態

（調査人数28人 複数回答あり H22. 9. 21）

#### (1) 本主題に関する経験場面①

| 自分より年下の子に親切にできた経験 | 人数 |
|-------------------|----|
| ・ 困っていたときに助けた     | 15 |
| ・ 転んでいたときに励ました    | 8  |
| ・ 寂しそうときに声を掛けた    | 2  |
| ・ 世話や手伝いをした       | 2  |
| ・ 好きなものを買ってあげた    | 1  |

#### (2) 本主題に関する経験の理由①

| 自分より年下の子に親切にできた理由  | 人数 |
|--------------------|----|
| ・ 困っていた、かわいそうだったから | 16 |
| ・ 心配だったから          | 7  |
| ・ 相手が元気になるから       | 2  |
| ・ 私を助けてくれたから       | 1  |
| ・ 自分が困るから          | 1  |
| ・ 自分が暇だったから        | 1  |

#### (3) 本主題に関する経験場面②

| 自分より年下の子に親切にできなかった経験 | 人数 |
|----------------------|----|
| ・ 助けられなかった           | 15 |
| ・ 一緒に遊ばなかった          | 8  |
| ・ 声を掛けなかった           | 4  |
| ・ 頼まれたことをしなかった       | 1  |

#### (4) 本主題に関する経験の理由②

| 自分より年下の子に親切にできなかった理由 | 人数 |
|----------------------|----|
| ・ 遊びなどに夢中だったから       | 16 |
| ・ 他のことが大切だったから       | 6  |
| ・ 嫌なことを言われたりされたりしたから | 3  |
| ・ 面倒だったから            | 1  |
| ・ 恥ずかしかったから          | 1  |
| ・ いつも一緒に飽きたから        | 1  |
| ・ 自分とは合わない子だったから     | 1  |

#### (5) 道徳的価値の意義

| 親切にすることはなぜ大切か       | 人数 |
|---------------------|----|
| ・ 気持ちがいい、自分が嬉しいから   | 10 |
| ・ 自分に返ってくる、お返しがあるから | 7  |
| ・ 相手が小さくてかわいそうだから   | 5  |
| ・ 相手が喜ぶから           | 3  |
| ・ 褒めてもらえるから         | 1  |
| ・ 相手がみんなを嫌いになるから    | 1  |
| ・ 相手が成長するから         | 1  |

#### (6) 道徳的価値に対する心構え

| 親切にするためにどんな気持ちをもてばいいか   | 人数 |
|-------------------------|----|
| ・ 優しい気持ち（優しさ）           | 12 |
| ・ 助けるぞという気持ち（意欲）        | 6  |
| ・ 心配する気持ち               | 4  |
| ・ 声を掛けようとする気持ち（勇氣）      | 3  |
| ・ 自分がされてよかったことをする（意義）   | 1  |
| ・ 助けてもらっているという気持ち（助け合い） | 1  |
| ・ 正義感（正義）               | 1  |

#### 【考 察】

学級の全ての子どもが、自分より年下の子に親切にできた経験がある。そのときの理由としては、「困っていた、かわいそうだったから」や「心配だったから」という相手を気遣うものが多い。しかし、「自分が困るから励ましてあげた」、「自分が暇だったから助けてあげた」といった自己中心的な考えで親切にしている子どもも見られる。一方、自分より年下の子に親切にできなかった経験も多様な場面であり、その理由としては、「遊びなどに夢中だったから」や「他のことが大切だったから」、「嫌なことを言われたりされたりしたから」といった自分本位な考えや損得感情が要因となっていることが多い。また、親切にすることの意義では、「気持ちがいい、自分が嬉しくなるから」と自己の快い感情を意識している子どもが多い。次いで、「友達に優しくしたら自分に返ってくるから」という物事の損得を意識した考えが見られる。加えて、「相手が小さくてかわいそうだから」、「相手が喜ぶから」などの相手を意識した考えが挙がっているが、集団を意識した考えはまだ見られない。そして、親切にするための心構えとしては、「優しい気持ちをもつ」という考えが多く、次いで「助けるぞという気持ちをもつ」という意欲面を挙げている子どもが多い。

この調査を踏まえ、以前行った実態調査と比較すると、親切にすることの意義で、「自分に返ってくるから」という考えが減り、「自分が嬉しくなるから」という考えが増えている。これは、子どもたちが以前より、道徳的価値の意義を感じ始め、自分の心地よさが親切な行為をする推進力になっていると思われる。更に、集団の心地よさにまで目を向けられるように考えを広げていきたい。また、親切にするための心構えでは、「何かいいことが起きるぞ」、「ありがとうと言われたい」といった他律的な気持ちは見られなくなっている。しかし、今回子どもたちに意識してほしい「相手の本当の気持ちを考える」という相手の立場に立った考えは挙がっていない。そこで、資料を通してその心構えがもてるような工夫が必要である。

また、今回の資料に関連して、子どもたちに年下の子どもとうまく遊べなかった経験を聞いたところ、遊びたい気持ちは強いものの、「1年生が鬼ごっこで早く捕まってつまらなかった」、「自分が強すぎて相手がすねた」などといった、力の差に原因がある場合が多い。本資料と結び付けて、相手の立場に立って本当の気持ちにまで目を向けることの大切さについて自覚できるようにしていくことで、真の思いやり・親切についての道徳的実践力の育成に努めていきたい。

#### 4 資料について

##### (1) 資料のあらすじ

公園で鬼ごっこをしていると、幼稚園に通うゆうたがやってきた。ゆうたは、交通事故で大けがをしてからは、みんなと同じようには走れない。鬼ごっこに加わったゆうたに、わざと走るのを遅くするなどしたしんじたち。やがて、ゆうたはおにごっこをやめてしまう。しんじたちはみんなで考えて、もう一度ゆうたを誘った。今度は懸命に追いかけて、ついゆうたにタッチしてしまう。すると、ゆうたは張り切って、みんなを追いかけて始めた。しんじたちは、だんだん楽しくなって、日が暮れるのも気付かないほど、夢中で鬼ごっこを続けたのであった。

##### (2) 資料の分析・子どもの反応予想

| 場 面                                                | 価値の分析（価値構造図より）                                                                                                                                     | 予 想 さ れ る 子 ど も の 反 応                                                                                                                                                                                            |
|----------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 ゆうたを鬼ごっこに入れたときのしんじたち<br>【迷い】<br>【望ましい姿】          | a 自分本位な考え（つまらなくなる不安）<br>c 損得感情（自分たちは得をしないのでは）<br>ア 自己の快い感情（対自）<br>ウ 信頼関係の深化（対自）<br>オ 他者の快い感情（対他）<br>キ 人間関係の向上（対社）<br>②思いやり ③優しさ ⑥自己犠牲<br>⑦助け合い ⑨正義 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゆうちゃんが入ると、鬼ごっこがつまらなくなるかもしれないな。</li> <li>・ 大丈夫かな。鬼になったらかわいそうだな。審判だったら嫌な思いをしなくていいだろう。</li> <li>・ 審判はかわいそうだな。一緒に遊んであげた方がいいよ。</li> <li>・ みんなで遊ぶと楽しいよ。</li> </ul>            |
| 2 ゆうたが鬼ごっこをやめたときのしんじたち<br>【迷い】                     | a 自分本位な考え（相手のことを考えてあげたのに）<br>エ 他者への理解（対他）<br>オ 他者の快い感情（対他）<br>キ 人間関係の向上（対社）<br>①他者理解 ②思いやり<br>③優しさ ④意義 ⑤意欲                                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゆうちゃんのことを考えて遊んであげたのに、勝手だな。</li> <li>・ なんでやめてしまったのだろう。</li> <li>・ 嫌なことがあったのかな。</li> <li>・ 自分たちがやったことはゆうちゃんにとってよいことじゃなかったのかな。</li> </ul>                                  |
| 3 ゆうたが鬼になり張り切って追いかけているのを見たしんじたち<br>【望ましい姿】<br>【感動】 | ア 自己の快い感情（対自）<br>イ 自己の成長（対自）<br>ウ 信頼関係の深化（対自）<br>エ 他者への理解（対他）<br>オ 他者の快い感情（対他）<br>キ 人間関係の向上（対社）<br>①他者理解 ②思いやり<br>③優しさ ④意義 ⑤意欲<br>⑦助け合い ⑧勇氣        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゆうちゃんが元気になって、僕たちも嬉しいな。また遊べるかな。</li> <li>・ ごめんね。1人だけ違うことをされて嫌だったんだね。みんなと同じように遊びたかったんだね。</li> <li>・ 喜んでくれてよかった。</li> <li>・ ゆうちゃんも僕たちも仲良く遊べると、みんなが楽しいし、気持ちがいいね。</li> </ul> |

この資料は、身近にいる幼い男の子「ゆうた」と、一緒に遊んだ「しんじたち」の心情を通して、相手の本当の気持ちを理解し親切にすることの大切さについて考えを深めることができる話である。これまでに、本学級の子どもたちは、道徳の時間に幼い人や高齢者に対する思いやり・親切について考えてきた。この資料では、今までの資料にはなかった、子どもたちにとっては親切だと思った行為が、相手にとってはそうではないという点を推し量ることが大変難しいものと思われる。しかし、相手の立場に立ち、相手にとって本当に望ましいことは何かということまで考えることは、とても意義のあるものである。

#### 5 本 時

##### (1) 目 標

幼い人に温かい心で接し、親切にするための考えを導き出し、相手の立場に立って、相手の本当の気持ちを理解して行動しようとする意欲を育てる。

##### (2) 指導に当たって（研究内容との関連）

- 「見つめる」過程では、中心発問により資料の主人公の気持ちに迫る場面で、表情絵などを使って小集団で話し合う活動を取り入れる。そのことで、子どもたちが、互いの意見を交流し合い、よさを認め合いながら、登場人物の心情について共感的に追求していくことができるような道徳らしい温かい雰囲気での交流の在り方を探っていく。更に、発表する際に、子どもたちの考えを教師が関連付けたり比較したりすることで、道徳的価値についての見方・感じ方・考え方に広がりや深まりをもつことができるようにする。
- 「深める・高める」過程では、「見つめる」過程とのつながりをもたせながら、大切にしたい考えと関連する経験を振り返り、「自分づくりカード」にまとめる活動を取り入れる。そのことで、関連する日常経験の場面では、大切にしたい考えが生かせる、または、これから生かせると気付くことができるようにし、日常生活への実践意欲の向上を図る。

| 過程                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 主な学習活動と予想される子どもの反応                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 教師の指導                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>(分)</p> <p>1 子どもたちが下級生と遊んでいる様子の写真などを見て、そのときの気持ちについて話し合う。</p> <p>気付く</p> <p>1 小さい子どもと遊んでいるときはどんな気持ちかな。うまく遊べなかった経験はな<br/>いかな。</p> <p>1 年生は一緒に遊ぶと、とても喜んで<br/>れて嬉しかったよ。小さい子たちだから優<br/>しくしてあげようと思って遊んでいたよ。</p> <p>ドッジボールで投げる強さが違うから、あ<br/>んまり本気で投げられなかったことがある<br/>な。一緒に遊ぶことが難しいときもあるね。</p> <p>本当のやさしさをもつためには、どのようなことが大切なのだろうか。</p> <p>(8)</p> | <p>☆ 本学級の子どもたちも実際に下級生と遊んでいる写真や映像を電子黒板に投影すること、そのときの様子や気持ちを思い出すことができたようにする。また、うまく遊べなかった経験について意図的指名をすること、本時の課題意識をもつことができるようにする。</p> <p>○ 自分の経験を振り返ることができよう<br/>な問いかけを基に考えることで、資料の登<br/>場人物に深く共感できるようにする。</p> <p>○ ゆうたが鬼ごっこをやめた場面について<br/>役割演技を行うことで、子どもたちがゆう<br/>たの姿を想像しながら、相手の立場も考え<br/>た気持ちを発表することができるようにな<br/>る。</p> <p>○ ゆうたの本当の気持ちについて気付いて<br/>いけるように、小集団で、ゆうたやみんな<br/>の様子、表情の変化などについて話し合い、<br/>共感的に追求していくことができるように<br/>する。また、発表する際に、子どもたちの<br/>考えを教師が関連付けたり比較したりする<br/>ことで、本主題に関する意義についてより<br/>深くとらえることができるようにする。</p> <p>◆ 「自分づくりカード」に本主題に関<br/>する大切にしたい考えを書く際、黒板<br/>で類型化した、対自、対他の観点を基<br/>に考えるように言葉を掛けることで、<br/>道徳的価値に関する心構えに目を向け<br/>られるようにする。</p> <p>○ 「自分づくりカード」を用いて、本主題<br/>に関する大切な考えをまとめ、これまでの<br/>経験と結び付けて考えることにより、その<br/>後の生活への実践意欲を高めることができ<br/>るようにする。</p> | <p>☆ 本学級の子どもたちも実際に下級生と遊んでいる写真や映像を電子黒板に投影すること、そのときの様子や気持ちを思い出すことができたようにする。また、うまく遊べなかった経験について意図的指名をすること、本時の課題意識をもつことができるようにする。</p> <p>○ 自分の経験を振り返ることができよう<br/>な問いかけを基に考えることで、資料の登<br/>場人物に深く共感できるようにする。</p> <p>○ ゆうたが鬼ごっこをやめた場面について<br/>役割演技を行うことで、子どもたちがゆう<br/>たの姿を想像しながら、相手の立場も考え<br/>た気持ちを発表することができるようにな<br/>る。</p> <p>○ ゆうたの本当の気持ちについて気付いて<br/>いけるように、小集団で、ゆうたやみんな<br/>の様子、表情の変化などについて話し合い、<br/>共感的に追求していくことができるように<br/>する。また、発表する際に、子どもたちの<br/>考えを教師が関連付けたり比較したりする<br/>ことで、本主題に関する意義についてより<br/>深くとらえることができるようにする。</p> <p>◆ 「自分づくりカード」に本主題に関<br/>する大切にしたい考えを書く際、黒板<br/>で類型化した、対自、対他の観点を基<br/>に考えるように言葉を掛けることで、<br/>道徳的価値に関する心構えに目を向け<br/>られるようにする。</p> <p>○ 「自分づくりカード」を用いて、本主題<br/>に関する大切な考えをまとめ、これまでの<br/>経験と結び付けて考えることにより、その<br/>後の生活への実践意欲を高めることができ<br/>るようにする。</p> |
| <p>2 資料『公園のおにごっこ』を読み、「しんじたち」の気持ちを中心に話し合う。</p> <p>(1) ゆうたが「ぼくも、入れて。」と言ったときのしんじたちの気持ちについて話し合う。</p> <p>見</p> <p>つ</p> <p>め</p> <p>る</p> <p>(25)</p>                                                                                                                                                                                            | <p>・ 入れてあげた方がいいけど、ゆうちゃんを入れるとおもしろくなるかな。</p> <p>・ 小さいし、うまく走れないけど大丈夫かな。鬼になたらかわいそうだな。</p> <p>・ 審判だったからできるかもしれない。でも審判は嫌かな。どうすればいいのだろう。</p> <p>(2) ゆうたが鬼ごっこをやめたときのしんじたちの気持ちについて話し合う。</p> <p>・ ゆうちゃんのことを考えて遊んであげたのに、ゆうちゃんはわがままだな。</p> <p>・ なんでやめてしまったのだろう。何か嫌なことがあったのかな。</p> <p>・ ゆうちゃんを追いかけるのをやめたり、わざと遅くしたりしたのがいけなかったのかな。</p> <p>(3) ゆうたが張り切っているのを見たとき、しんじたちはどんなことに気付いたか話し合う。</p> <p>対自</p> <p>対他</p> <p>・ ゆうちゃんが元気になって、僕たちも嬉しいな。</p> <p>・ ごめんね。ゆうちゃんもみんなと同じように遊びたかったのに、1人だけ違うことを<br/>されて嫌だったんだね。ゆうちゃんのことを考えていたつもりだけど、違っていた<br/>んだね。</p> <p>・ ゆうちゃんが喜んでくれてよかった。相手の本当の気持ちを考えることが大切なんだね。</p> <p>・ ゆうちゃんも僕たちも仲良く遊べると、みんなが楽しいし、気持ちがいいね。</p>                                                                                                                                        | <p>○ ゆうたが鬼ごっこをやめた場面について<br/>役割演技を行うことで、子どもたちがゆう<br/>たの姿を想像しながら、相手の立場も考え<br/>た気持ちを発表することができるようにな<br/>る。</p> <p>○ ゆうたの本当の気持ちについて気付いて<br/>いけるように、小集団で、ゆうたやみんな<br/>の様子、表情の変化などについて話し合い、<br/>共感的に追求していくことができるように<br/>する。また、発表する際に、子どもたちの<br/>考えを教師が関連付けたり比較したりする<br/>ことで、本主題に関する意義についてより<br/>深くとらえることができるようにする。</p> <p>◆ 「自分づくりカード」に本主題に関<br/>する大切にしたい考えを書く際、黒板<br/>で類型化した、対自、対他の観点を基<br/>に考えるように言葉を掛けることで、<br/>道徳的価値に関する心構えに目を向け<br/>られるようにする。</p> <p>○ 「自分づくりカード」を用いて、本主題<br/>に関する大切な考えをまとめ、これまでの<br/>経験と結び付けて考えることにより、その<br/>後の生活への実践意欲を高めることができ<br/>るようにする。</p>                                                                                                                                                                                                           |
| <p>3 これまでの自分を振り返り、幼い人に親切にすることの大切さについて話し合う。</p> <p>深める・高める</p> <p>(12)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                   | <p>・ 相手がどのように考えているのか、本当の気持ちに<br/>気付いて優しくしてあげることが大切だね。</p> <p>・ きつと1年生とドッジボールをしたとき、1年生が<br/>考えている気持ちを想像して言葉を掛けてあげたら、<br/>もっと1年生も楽しく遊べるし、みんなも楽しく遊べ<br/>るのだろうな。</p> <p>・ 相手がどのように考えているのか、本当の気持ちに<br/>気付いて優しくしてあげることが大切だね。</p> <p>・ きつと1年生とドッジボールをしたとき、1年生が<br/>考えている気持ちを想像して言葉を掛けてあげたら、<br/>もっと1年生も楽しく遊べるし、みんなも楽しく遊べ<br/>るのだろうな。</p> <p>・ 相手がどのように考えているのか、本当の気持ちに<br/>気付いて優しくしてあげることが大切だね。</p> <p>・ きつと1年生とドッジボールをしたとき、1年生が<br/>考えている気持ちを想像して言葉を掛けてあげたら、<br/>もっと1年生も楽しく遊べるし、みんなも楽しく遊べ<br/>るのだろうな。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                       | <p>○ 「自分づくりカード」を用いて、本主題<br/>に関する大切な考えをまとめ、これまでの<br/>経験と結び付けて考えることにより、その<br/>後の生活への実践意欲を高めることができ<br/>るようにする。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |